



Title	1972年の沖縄返還時の有事の際の核持ち込みに関する「密約」に係る調査関連文書No.1(46 外務省外交史料館レファレンス番号 : H222228)
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(3)No.5 公開日 : 平成22年12月22日 外務省外交史料館管理番号 : 2010-6437 CD・DVD番号 : H22-013
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43894
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

1

C



46

権 亮
相 利
44.2.15 米 務 省

大臣米商村田理太郎会談の件

44.2.15 米務省

2月15日 大臣 相利と米商村田理太郎を
白金会館にて会談。約1時間会談した。村田

知事 先方、沖繩道選出後12月12米政
府は未だ白紙であり個人の見解として申し

言するとして、申すに子息の母を為すあり。

1 基地の地位に付いて、換や自衛隊に付いて
本土並みでない。取扱いを公にして協定

を以て、日本国内の施設に曝すに etude し
本元まで、施設に来るのを最も要する。

公にされるものは、日本国内で、早急土壌
と云ふに由り、本土並みを取扱いの如何問題

に付いては、速急取扱いを以て、やりやうなく

と云ふに、此方、最良の案を以てやりやうと云ふ。

又、日本側としては、或一線を主として、政府
が、云ふに、又或一線以上を公に約束

にせざるに etude に、本元まで、施設を先
段がある、と云ふ。一線が、あり、あり、から、

先づ、此れを、米側に、提示し、先づ、一線
を、米側を以て、取扱いせしめ、と云ふ。行方

が、最良の案と云ふ。

3 本土には、一線の、優勢が、土壌上、に、ある
(記、朝鮮半島の件を以て「本元」と

称している) 沖繩が、先づ、土壌上、に、ある
か、と云ふ。又、日本側、統合、各、課、長、の、意見

も、参照、して、土壌上、に、ある、か、同一、本、元
が、取扱い、する、か、土壌上、に、ある、か、土壌上、に、ある、か、

